

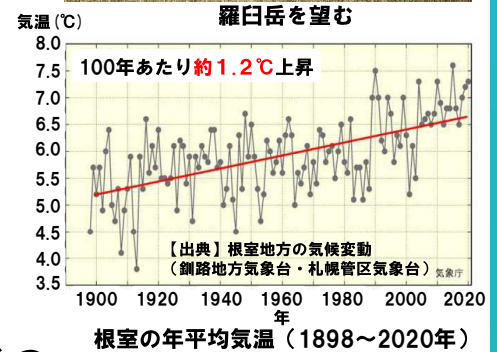
「ゼロカーボンねむろ」の推進に向けて

◆世界自然遺産「知床」、ラムサール条約に登録された「野付半島」や「風蓮湖」など、根室地域の世界に誇れる自然を守っていくこと、それが私たちの使命です。

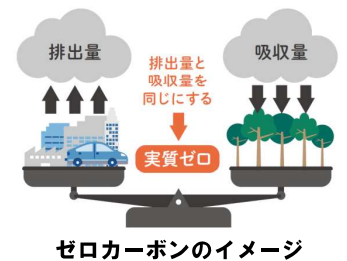


◆しかしながら、近年の地球温暖化により、私たちの生活や自然環境に影響が出ています。

地球温暖化により「大雨による被害」「サンマやサケの不漁」などが発生しているのではないかとされています。



◆このため、北海道では、地球温暖化を食い止めるため、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を減らし、吸収量とバランスを取ることで、2050年までに排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」の実現を目指しています。



◆こうした中、私たちの根室地域は、「再生可能エネルギー」を活用して排出量を減らしたり、森や海を活用して吸収源を確保する潜在力の高い地域であり、令和3年3月の羅臼町を皮切りに、令和5年3月までに根室市、別海町、中標津町、標津町でも「ゼロカーボンシティ」を表明しました。

【再生可能エネルギー】
「風力」「バイオマス」
「地熱・温泉熱」など

【吸収源の確保】
「植林や森林管理」
「ブルーカーボン」など

◆根室全域でゼロカーボンを目指すことを表明した今、行政をはじめ、関係機関・団体や事業者、住民の皆様が一丸となって、地域でできることを地域全体で進める「ゼロカーボンねむろ」に取り組んでいきましょう。



【日常生活の中でもゼロカーボン実現のためにできること】
「こまめな消灯」「マイバッグの利用」「地元食材を選ぶ」など

令和5年4月1日

根室市長	石垣 雅敏	別海町長	曾根 興三
中標津町長	西村 穰	標津町長	山口 将悟
羅臼町長	湊屋 稔	根室振興局長	岡嶋 秀典

【問合せ先 北海道根室振興局保健環境部環境生活課 Tel.0153-23-6821】

気候変動問題の解決に向け
「2050年カーボンニュートラル」が
世界共通の目標に

- ☑ 国は2050年までにカーボンニュートラルを目指す
- ☑ 道は「ゼロカーボン北海道」の実現を目指す
北海道の温室効果ガス排出量を2013年度比で
 - ①2030年度までに48%削減
 - ②2050年までに実質ゼロ
 合わせて持続可能で元気な北海道づくりを進める
- ☑ 4月、G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合開催
- ☑ 根室管内全市町「ゼロカーボンシティ」表明

「ゼロカーボン北海道」の実現のため
地域でできることを地域全体で取り組む
それが「ゼロカーボンねむろ」

- 根室地域として「ゼロカーボン北海道」実現に向けて
取り組むためには、管内1市4町、振興局をはじめ、
関係機関・団体や事業者、住民の皆様が一丸となって、
一緒に考え、行動することが必要です。
- 未来の北海道、根室地域のために、
地域のポテンシャルを活かし、日々の生活から
一人ひとりがゼロカーボンを意識して、
「ゼロカーボンねむろ」に取り組みましょう。

「ゼロカーボンねむろ」の重点的な取組（イメージ）

ゼロカーボンに向けた
豊富なポテンシャル

脱炭素

- ・農業分野の温室効果ガス削減に向けた調査研究
- ・公共施設の照明LED化
- ・公共施設のZEB化
- ・公用車のEV化
- ・EVコミュニティバス導入

CO₂吸収源

- ・計画的な森林整備、適切な森林管理
- ・河川や森林環境の保全
- ・林業経営支援
- ・藻場の保全・回復

再生可能エネルギー

- ・バイオマス資源循環地域形成の取組
- ・地熱開発調査の支援
- ・太陽光発電施設の適正な設置管理の推進

その他

- ・地球温暖化対策実行計画策定・見直し
- ・住民の理解促進
- ・地域人材の育成



根室市

別海町

中標津町

標津町

羅臼町

振興局

住民

関係機関等

地域一丸となって進める

地域みんなで「ゼロカーボンねむろ」に取り組み、
世界に誇れる根室地域の自然を守り、
持続的に発展することができる地域の実現を目指す